

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成 28年 4月 1日 ~ 平成 33年 3月 31日
3. 業務の範囲	1. 管理運営業務 (1)受付業務 (2)センターの維持に関すること (3)その他必要な管理運営業務 2. センターの事業運営 (1)情報の収集・提供及び広報事業 (2)相談業務 (3)行政と団体との中間支援組織としてのコーディネート業務 (4)調査提言機能 (5)行政との連携 (6)市民や市民団体向けの交流事業、啓発事業の企画・運営(年3回以上) (7)市民ニーズに応じたセンター運営

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		【評価対象外】		
				平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)						
		(2)利用人数	②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	95%未満～85% 3点	利用人数 28年度 7,323人 前年比 ▲550人 27年度 7,873人 前年比 ▲ 88人 26年度 7,961人 前年比 189人 (前指定管理年 26・27年度)	6点	
				平均値比(92.5%)=利用人数(延べ7,323人)÷上記(1)適用(7,917人)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	1. 情報の収集・提供及び広報事業 支援センター便りを4回発行し、登録団体に送付。ホームページ277回更新。フェイスブックでの182回発信。展示スペースでの団体情報発信13回 2. 相談業務 NPO専門相談を、毎月計画開催11回(県NPOセンター職員)。窓口相談133件 3. コーディネート機能 団体への講師派遣等11件 4. 団体の現状把握及びサポート 市民活動団体の現場活動訪問156回・登録団体の情報更新(年1回更新、登録随時) 5. 講座の開催 NPO講座4回 計33名参加 6. 市民活動を育てる交流事業、啓発事業 市民活動団体交流会1/29 38人(31団体)参加、登録団体の支援環境フェア2/19、まなバーフェスティバル3/12	仕様書に忠実 11点	1. 市民活動団体の広報 的確にホームページや情報提供、フェイスブックの活用で、地元新聞社の取材あり。市民の施設認知度を上げている。 2. 現場活動の訪問 現場を見ることで情報収集、団体とのつながりを生み出している。 3. 市のNPO法人認証事務の権限移譲に伴いNPO向けの充実 ①「NPO基礎・運営講座」5/28.6/4 9名 ②「NPO会計の初歩とマイナンバー制度」7/9 7名 ③「NPO法改正説明会」10/20 10名 ④「NPO会計決算講座」2/9等 7名 4. 団体交流会の工夫 団体活動の紹介だけではなくアドバイザーからコメントをもらい、これからの方向性や他の参加者にとっても団体を理解する機会を作った。	11点	
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	1. 防災関連講座 ①講演会「巨大地震！そのとき多治見に何が起こるか」名古屋大学減災センター福和教授11/20 43名 ②NPOバス見学ツアー12/2恵那市消防防災センター、NPOめだかの学校訪問12/2 14名 ③ぼるとカフェ「家具の固定方法とおいしい非常食の選び方」12/17 11名 2. 市民向け講座 ①交流サロン(ぼるとカフェ)市民同士の事業 「ペーパーバック・ぼち袋」4/26 11名、「暮らしに役立つ美文字」6/18 13名、「多治見空襲」7/16 41名、「広島原爆」8/6 18名、「家具固定」12/17 11名 ②市民活動の基本となる活動 「コミュニケーション講座」10/22、29 36名、ファシリテーション入門講座9/4,11 43名	期待以上 12点	1. 防災に関する事業の展開 災害対策における市民活動の有用性を見据え、防災活動の活性化を図り、市民の防災への関心を高めた。講座以外にもHUG(避難所運営ゲーム)の貸し出し、紹介を行っている。 2. スキルアップを図るべく支援事業の充実 これからの市民活動の継続にあつたて必要なスキルアップ講座を充実。	12点	

2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	適正実施	適正(普通) 2点	適正に実施している。	10点
			②保守・点検			適正実施	適正(普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に管理している。	
			③保安・警備			適正実施	適正(普通) 2点	適正実施	
			④小規模修繕			適正実施	適正(普通) 2点	展示パネル用にライトを設置(42,800円)	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			適正実施(毎日目視点検)	適正(普通) 2点	日常業務の中で、随時危険箇所の点検を行っている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	ファイリングシステムを導入し、適切に管理されている。	適正(普通) 2点	鍵付キャビネットで整理整頓がされ、職員間で共有できるようにされている。	10点
			②環境への配慮			市の環境マネジメントシステムに準じて、再生紙・裏紙利用、エコ商品の購入、節電に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			③バリアフリー			通路の確保、避難経路の確認等、適正に実施している。	適正(普通) 2点	奥にある放送大学の視聴者等に配慮して、動線を確保している。	
			④備品管理			適正に管理している	適正(普通) 2点	適正に実施している。	
			⑤個人情報保護			キャビネットは施錠管理をしている。 登録団体には、更新時に登録シートに情報の公開可否を記入している。 マイナンバーの収集は、文化振興事業団の規定に基づいて取り扱っている。	適正(普通) 2点	適正に管理し、管理者の「個人情報保護に関する基本方針」に基づいて管理している。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点		0点	
	3	当該施設の経営状況(5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入(286,635,970)÷支出(295,152,839)=97.11% 全体評価	100%未満 3点	
4	より良い施設運営のための取組(30点)	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	講座ごとにアンケート実施 利用者からの意見を反映した事業展開	適正(普通) 7点	要望に対して常に迅速に対応し、回答できるように配慮している。職員が窓口で常駐しているため、迅速にサポートできている。	7点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし	苦情なし・適正(普通) 4点		4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	1. 中間支援組織との連携 他市町村(可児市・恵那市等)の中間支援組織との連携強化 2. 職員の資質向上 窓口対応研修、行政や登録団体の講座に参加 3. 市まちづくり活動補助団体のサポート 7団体との情報提供、展示紹介、相談業務等 4. 活動団体のサポート 登録団体との共催事業、活動場所提供(かがやき世代、多治見おもちゃ病院、綿の実会、ダンボールコンポスト研究会、仕分け虹の会)	適正(普通) 11点	1. 中間支援組織としての資質の向上 先進的な中間支援組織との交流、ノウハウを得る機会を作っている。スタッフのスキルアップも図り、各種研修に参加。 2. ボランティアの支援 社会福祉協議会のボランティアセンターと連携し、ボランティア情報の提供を的確に行っている。中高生のボランティア活動を調査し、すそ野を広げることを計画している。 3. 実態把握と連携模索 年に1回団体情報を更新する他にも、登録団体以外の活動現場も訪問し、団体の実態を把握し、市民活動交流支援センターの紹介を行っている。	11点
5	その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	遅れ・不備なし	遅れ・不備なし 減点なし		0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下					合計74点
								全体的な評価 ・市民活動交流支援センターの周知を図る初心者向けの講座から、NPO専門講座と幅広く事業を行っている。 ・市民活動団体の把握を行うため、現場訪問を行い、多くの情報を収集している。 ・今後も多くの市民活動団体の把握をし、ニーズに合った支援体制を続けてほしい。	良好